



卷之三

ヒラ消費組合

教育部
一九四五三年三月

購買割戾金

癸卯七割三月下旬
支松開始

購買割戻金
残り七割三月下旬
支払開始

員の購買高に従つて割
安すことであります。
ヒテ消費組合は一九
四年二月廿三日創立
であります。が第一回は
自一九四二年七月一
九四三年度会計に八万
三千六百八十一弗。四
仙を松原し第二回は自
一九四三年至一九四四
年度会計(七月一六月)
一千四百二十八弗七十
九仙であります。その中
三割は既に昨年十二月

に割安し、更に廢額七割
を来る三月下旬より四
月に亘つて払戻すべく
毛保主任は部員を總動
員して目下準備中であ
ります。尤も鶴湖外住
の方市行きの会員に対す
る払戻しは全額を支払
つて居りますから十二
月の三割払戻しは運賃
資金証と有する所内金
員に対するものであり
ます。従つて七割の割安
も同一であります。

欄書投

珍姓名
逸

比良の館府にも珍
姓名を持つた方が澤山
ある。せ一区に明珍さん
道休さんと云ふ大関株
が二人あるのに興味を
惹かれて珍姓名を漁つ
て見ると、ちろはく珍
らしいお方が続々と出
て来る。

珍^{タマ}た^{シマ}其^の他^ハ、
都^{ミヤコ}甲^{カニ}隨^{スル}朝^{モヒ}御^{ミササギ}、
明^{アキラカ}渡^{カスガ}などの諸氏^{ハシナシ}が、
珍^{タマ}しい夷^{ヤクニ}では決^{スル}じて、
追^{スル}けは取^ルらぬ方^{カタ}だ。
名前^{メイヂ}で珍^{タマ}らし^イ人に、
中村次郎太夫^{ミツラタブ}と云ふるに、
御^{ミササギ}や中村左膳^{サザン}などの様^{ハシナシ}の名前^{メイヂ}、
ふふ様^{ハシナシ}の方^{カタ}もあらう。
「コノアフタ」云ふるに、
傷^{ハリ}い^テ居^ル人^{ヒト}で、觀^{スル}子^{コノ}を保^ル漁^{ウニ}野^ノの諸氏^{ハシナシ}も珍^{タマ}ら
い方^{カタ}だ。其^の他^ハ格^{ハシナシ}立^{スル}。

てたら限りが無い私の手元に控へてある丈ヶ谷でも百数十名に上る。これには此の館床の人では言ひないが八月三十一日と云ふ人と十時五分と云ふ人が何とがあると言ふ話だが何と説むのが如何博識の方に教へて頂きたいものだ。

一般の特撰書は明治のものと
なむの教育的なものと建設的
なもの等を歓迎致します